

5. アクティブラーニング研究会の開催日と研究活動

1	多摩大学高大接続アクティブラーニング研究会 (多摩大学)	6/4(月)	16:30~18:00	
2	AL研究会・FD勉強会・SD研修会の共催による講演会(多摩大学)	7/7(土)	10:40~12:10	講師:立命館大学沖教授
3	多摩大目黒高校における講演会	7/14(土)	10:30~12:00	講師:京都大学溝上教授
4	AL研究会・FD勉強会・SD研修会の共催による講演会(多摩大学)	12/1(土)	10:40~12:10	
5	多摩大学AL祭	12/8(土)	調整中	
6	多摩大学高大接続アクティブラーニング研究会 (多摩大学)	2019年1/21(月)	16:30~18:00	

6. 研究会の活動実績

メディア情報



多摩大学

高大接続アクティブラーニング研究会

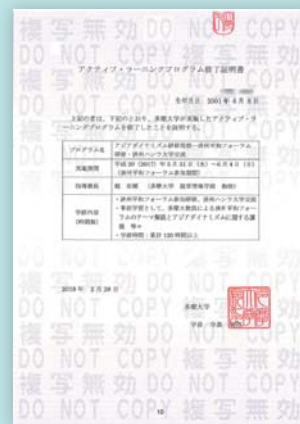
代表幹事 金 美德 経営情報学部 教授
 幹事 小西 英行 経営情報学部 准教授
 幹事 松井 晋作 (事務局)

多摩キャンパス 206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1
 Tel 042-337-7679 Fax 042-337-7100
 matui-s@tama.ac.jp
 http://www.tama.ac.jp/
 Mobile 090-4670-1270

※お問い合わせは事務局(松井)携帯またはメールアドレスまで遠慮なくご連絡ください。



- 高校生の活動報告書として利用可
 - JAPAN-e ポートフォリオにも使用可
- 1人1人の修了生徒に対して
 (プログラム名) (活動期間) (指導教員)
 (学修内容) が記載された修了証を発行



修了証

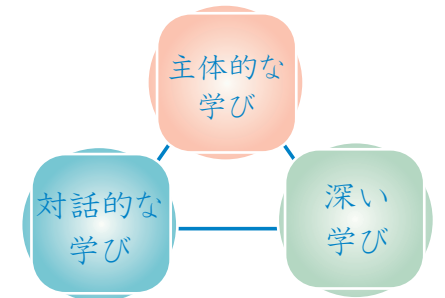
現代の志塾 多摩大学

高大接続アクティブラーニング研究会

1. 研究会の目的

(1) 「学力の3要素」に基づくAL技法を研究・開発し、
 教育の質的変換を図る。

- 第1段階 …… 「学習意欲向上を目的としたAL」(専門知識を活用しない)
- 第2段階 …… 「知識の定着を目的としたAL」(専門知識を活用する)
- 第3段階 …… 「問題解決を目的としたAL」(産学連携PBL)
- 第4段階 …… 「政策提言や社会学」を目的とした高次元のAL(文献研究とフィールドワーク)



(2) 「高大接続システム改革会議」の政策的要請を踏まえ、高校生と大学生が協働で学ぶ
 高大接続活動による教育改革に取り組む。

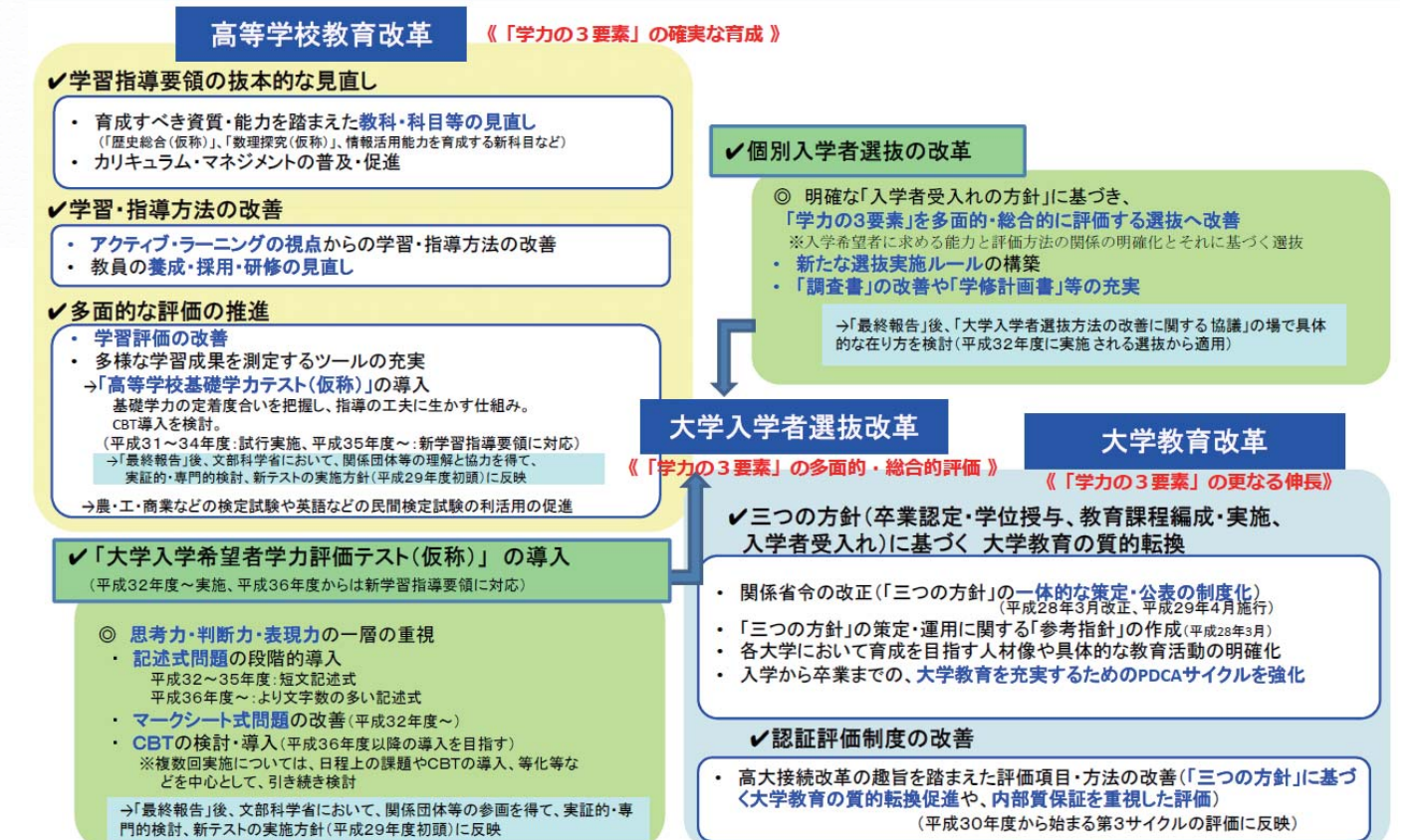
(3) 教員の資質能力(授業力・教育力・教員力)と職員の職能開発及び専門性(アドミニ
 ストラーターの役割)を向上させる。

(4) 高等学校、大学ともに「社会に開かれた学校」として地域連携、産官学連携、国際
 連携に積極的に取り組んでいく。

(5) 知識や体験の習得を基礎として探究活動において、講義とALの組み合わせを体系的
 に行いコミュニケーションの表現力を高めるようなキャリア教育(トランジション)
 を見据えた授業展開を図る。

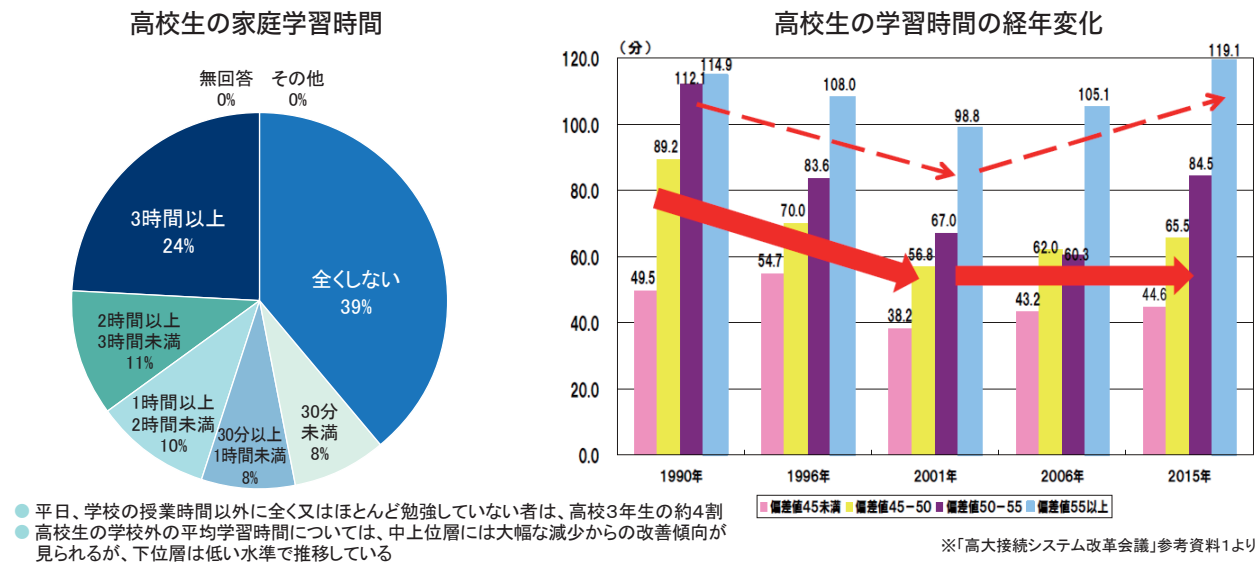
2. 研究会の背景 1

高大接続改革の全体像イメージ(高大接続システム改革会議最終報告より) -「高等学校教育」、「大学教育」、「大学入学者選抜」の一体的改革による「学力の3要素」の伸長-



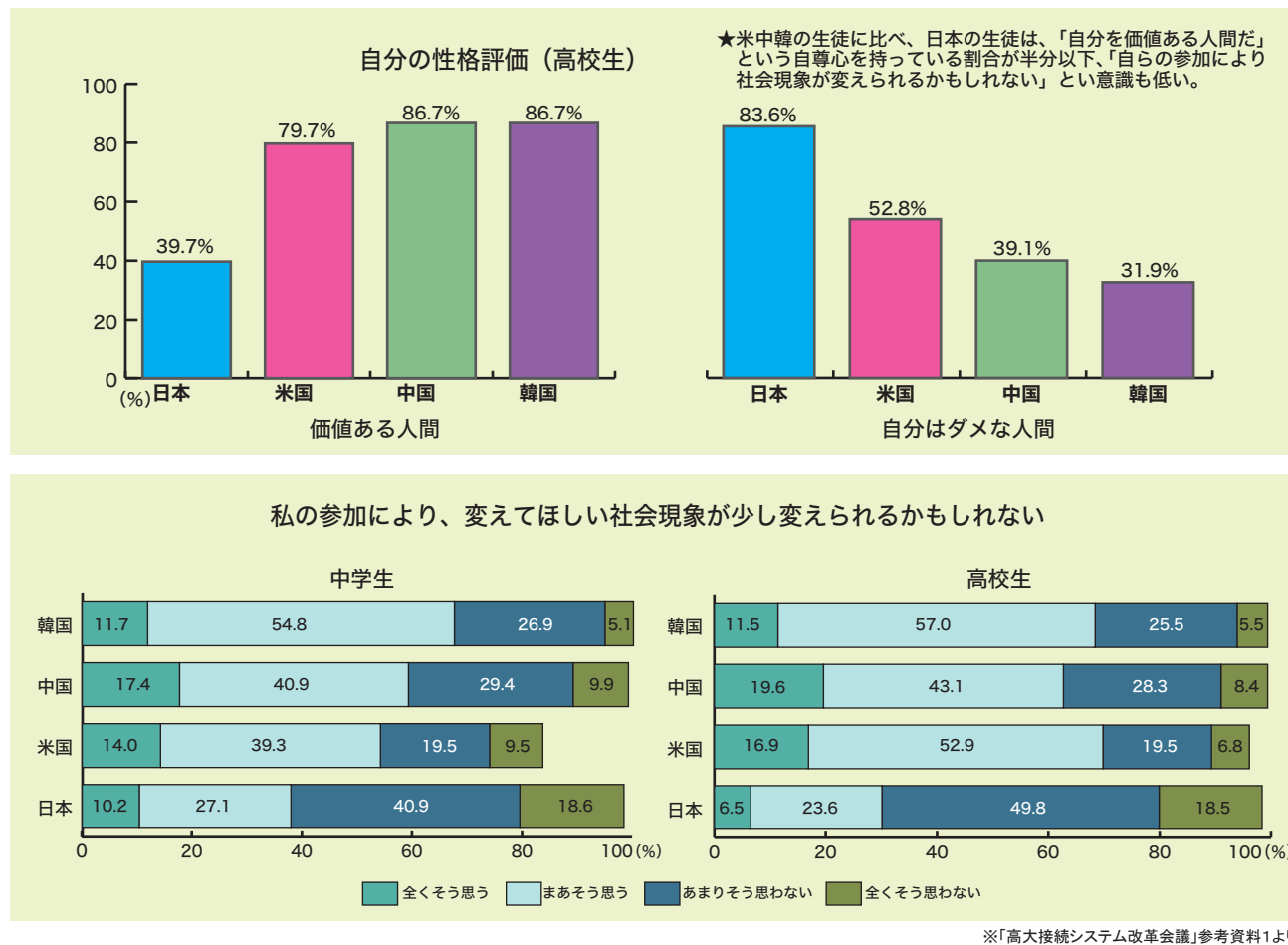
2. 研究会の背景 2

1. 高校生の学力・学習意欲等の状況



2. 研究会の背景 3

2. 生徒の自己肯定感、社会参画に関する意識



3. 政策的課題

- 高校生の学力・学習意欲を上げるためには教育の質的転換が必要である。
- 生徒の自己肯定感・社会参画に関する意識を高めるには自ら発信し、協働しつつ学習する実学を学ぶことが重要であり、社会と連携しながら学びの気づきを認識する必要がある。

AL導入
+
教員の資質能力向上

4-1. 高大連携プロジェクト

PBL(問題解決学習)型の探究活動/SDGs(持続可能な開発目標)/ESD(持続可能な開発のための教育)

No	プロジェクト名	プログラムの概要	2017年度の活動実績
1	研究授業	各高等学校におけるAL内容の見学及び意見交換を行う。	3回実施 延べ参加者数 120名
2	目黒プロジェクト	子供向け伝統文化イベントや大規模イベント(増上寺、東京ミッドタウン)目黒区商工連合会、めぐろ観光まちづくり協会とのイベントを実施する。	23回実施 延べ参加者数 801名
3	多摩大ALプログラム「韓国研修への高校生参加」	済州国際平和フォーラムへの参加及び現地済州ハンラ大学との交流等を実施する。	11回実施 延べ参加者数 177名
4	神奈川県いちよう団地プロジェクト	いちよう団地の先行研究論文の事前学習及びいちよう団地の連合自治会とまちづくり工房にてフィールドワークを行う。また10月いちよう団地祭りの参加及び日本語教室を主催する。	14回実施 延べ参加者数 264名
5	農業・ICTプロジェクト	ICTを利用したパッションフルーツの栽培を行い、農業体験とともに科学的アプローチによる学習を行う。	1回実施 参加者数 27名
6	国際交流プロジェクト	富士山登山などのフィールドワークや日本の伝統文化などを留学生とともに学ぶ。	2018年度 新規実施
7	VR入門プロジェクト	Unityをメインにプログラミングを使い、VRの世界を体験するだけでなく実際に動かせるところまでを学習する。	2018年度 新規実施
8	多摩大学教員によるリレー講座	最先端の経営学と情報学をメインにクリティカルシンキングやワークショップ形式で複数の教員がリレー講座として出張講義を行う。	5回実施 延べ参加者数 85名
9	起業プロジェクト	大学生と交流することでの協働的な学びを行う。	18回実施 延べ参加者数 212名

2017年度、研究活動や高大連携プロジェクトは13件企画運営され、延べ参加者数(生徒・学生・教職員・外部関係者)は、2,156名であった。

4-2. 実施の流れ

